

令和元年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。

評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準				小計
A	(1. 0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。		
B	(0. 7)	事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。		
C	(0. 5)	事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分が確認され、改善に向け対応中または対応済みである。		
D	(0. 0)	不適切な部分が確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。		63.6

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	公平性が確保されており、接遇研修も実施されている。また、アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件調査項目を確認したところ、業務従事者の適正な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題はない。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	施設内に潜在するリスクの洗い出しを行い、利用者の事故を防止するための対策の工夫が施設に見られる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	ウイルス対策を講じており、電子メールにはパスワードを設定している。また、個人情報の台帳は、書棚を施錠し管理している。
管理能力	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	経理担当が本施設専用の会計帳簿により、経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。
	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	決算を確認した結果、経営状況に問題となる点は見当たらず健全な経営を行っている。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	市内周辺の事業所において、サポート・バックアップを常に行える体制が確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	報告書類も適切に作成され、緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表及び日報で確認したところ、人員配置、シフト体制、勤務時間ともに概ね適正である。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	A	館長、支援員の指揮系統、責任権限が明確になっている。また、館長不在時の対応も明確で、評価できる。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	業務の効率化に努め、年次休暇の計画的な取得が図られている。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	事業計画に基づき、接遇接客研修、安全講習を計画的に行っており、アンケート調査での市民からの意見は良好である。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	専用の会計帳簿により適切におやつ代の収受、管理経費の収支をスタッフ3名で管理しており、問題は見られない。
施設の運営		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	警備、消防設備保守点検業務等の管理業務の一部について、第三者との当該契約に係る契約書等を確認した結果、適切に実施されている。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題はない。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対策として安全講習が行われており、緊急時対応が業務従事者に徹底されていることから、問題はない。
	業務内容	19 管理区域、業務範囲について的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲について的確に把握されていることから、問題はない。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、運営委員会で協議のうえ、適切に計画が履行されている。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	仕様書に基づいた営業時間で運営がされており、また、事業計画書に基づき適切に事業が実施されており、問題はない。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	A	協力団体と連携を取りながら奉仕活動を実施しており、地域活動等の情報収集等、周辺施設との連携が図られている。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	児童センターだより等により広く情報を発信するなど、施設の利用促進のため取組みをしている。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	長期休業中の各種イベントの開催など、利用者サービスを目的とした自主事業や企画が実施されている。
	障害者等への配慮	25 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	事業計画に基づき、接遇・接客研修が行われており、障害児、児童、親子連れに対し配慮した対応ができる。
経済性	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を2回実施し、業務改善や迅速な苦情対応に努めている。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	C	報告書から日常的なセルフモニタリングや自己評価がおこなわれていることが確認できず、課題がある。
	環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	電気、ガス・灯油、ガソリン、紙等の資源・エネルギー使用料削減目標に向けて、取組みや工夫を行っている。
	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	工作に利用する材料に廃材を活用し、経費削減に努めている。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	事業計画書どおりの事業を実施したが、利用者は減少した。利用促進には、努めた。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和2年2月
	調査対象	児童館・児童センター利用者
	調査方法	当該施設において、対象者に配布、封筒に封入して提出
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和元年度の 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ○物づくりへの挑戦 <ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の伝統的行事にちんだ紙細工(七夕笹飾り、おひな様工作)、月の行事にはプレゼント作りなど色々な工作に挑戦できた。自分でオリジナルなアイデアを取り入れ一つの作品を完成させ、作品を展示したことで家族、他の児童からも評価してもらえ自分もできるという達成感を味わうこともできた。保護者からも工作を楽しみにしているという声が多く、出来上がった作品を親子で嬉しそうに持ち帰る姿がみられた。 ○学習環境の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・センターで過ごす時間内に宿題を済ませてほしいと願う保護者が多い。来館後すぐに宿題に取り組む姿は定着してきた。長期休みは学習時間を決め、学習支援の先生に質問したり、宿題の他に家庭からの課題も多く多くの子どもは持参している。 落ち着いて出来る場所として図書室(つどいの広場使用場所)も利用している。図書室は静かな雰囲気の中でしっかり勉強が出来るので、学習室として定着している。 ○地域との関わり <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業「福祉・ボランティア体験事業」で地域にある介護施設への訪問、交流を行った。一緒に工作をしたり、子ども達が歌等の発表をし、ふれあうことができた。近隣の企業に工場見学として訪問、福祉広場のサークルの高齢者の方がセンターの子ども達に手品を披露したりと交流が増えた。 ○リーダーの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の子ども企画やセンター主催の催しの時には、中学年が中心となって企画・運営と自分の役割を最後までやり遂げることによって自己肯定感が高まった。活動の中に異年齢でのグループなどを作ることでより下級生の面倒を見る姿も多くあった。
要望・苦情への 対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ○物づくり <ul style="list-style-type: none"> ・学校ではなかなかできにくい工作や伝統的な行事に関連する造形のもつ良さが味わえる機会を、地域のボランティアの協力を得て充実させていきたい。 ○宿題への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・学習への取りかかりに時間がかかる子どもや途中で他の事に気が散って座っていられない子どももいる中、学習に集中できる子どもが増えてきた。学習時間の約束事を守れるようにし、学習意欲が継続するような環境づくりをしていきたい。 ○地域との関わり <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流の機会を増やし、思いやり優しさの大切さを子ども達が少しでも感じ取れるように工夫していきたい。 ・児童センターまつりへ菅野中の生徒の協力は引き続きお願いをし、センターとの交流の場としていきたい。
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○物づくり <ul style="list-style-type: none"> ・学校ではなかなかできにくい工作や伝統的な行事に関連する造形のもつ良さが味わえる機会を、地域のボランティアの協力を得て充実させていきたい。 ○宿題への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・学習への取りかかりに時間がかかる子どもや途中で他の事に気が散って座っていられない子どももいる中、学習に集中できる子どもが増えてきた。学習時間の約束事を守れるようにし、学習意欲が継続するような環境づくりをしていきたい。 ○地域との関わり <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者との交流の機会を増やし、思いやり優しさの大切さを子ども達が少しでも感じ取れるように工夫していきたい。 ・児童センターまつりへ菅野中の生徒の協力は引き続きお願いをし、センターとの交流の場としていきたい。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価（4段階評価）の基準		
A	(1. 0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0. 7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0. 5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0. 2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】

- ・概ね適切に事業が実施されている。
- ・事業の収支決算は適切である。

配点	評価
10	B
点数	7

【総合的な評価】

- ・アンケート結果は概ね利用者の満足を得るものであり、適切な管理運営が行われている。
- ・地域や福祉施設等との連携が深まりつつあるので、今後更に関係機関との協働を推進されたい。
- ・児童の様子について、学校と緊密な連携が図れている。
- ・引き続き、利用者の安全に配意し、子どもたちが基本的な生活習慣を身につけるための援助や、遊びを通じて自立するための手助けなどに取り組まれたい。また、指定管理者独自の強みを活かすとともに、「松本市子どもの権利に関する条例」に基づき、利用児童と保護者に寄り添い、多様化する児童館へのニーズに応えられるよう、柔軟かつ堅実な運営を期待したい。

合計点数

70.6

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」
※「不可」の場合、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要がある。	

判断結果

適正

【別紙】

3 利用者による評価